再 発 防 止 対 策 書

北陸支部

発生日時	令和 7年 5月19日（月曜日） 10時 39分頃							天候	晴れ	
災害の程度	死亡 ― 名		負傷 1 名		職種 電工		年令 40才		経験年数 22年	
工事の種類	調査測量	伐採	運搬	仮設	基礎	組立	足場	架線	撤去	その他
災害の種類	墜落・転落	転倒	物の飛来・落下	崩壊・倒壊	はさまれ・巻き込まれ	切れ・こすれ	感電	その他		
原因	作業準備の不良	作業方法の不良	工具防具の不良	電気工作物の不良	作業者の過失	共同作業者の過失	その他			
設備	電圧 66kV	2回線	電線 ACSR/AC 160mm^2	地線 AC 70mm^2						

災害の状況	[件名] 鉄塔解体作業中、墜落受傷
	[作業内容] 鉄塔解体
	[発生状況] 被災者は、7時56分から現場責任者以下計10名で旧鉄塔の解体作業に従事していた。10時39分頃、被災者は地上から約10mの水平材をB脚からA脚へ移動中、水平材の中央部から鉄塔材3箇所にぶつかりながら墜落受傷した。また、B脚上部に設置してあるキーロック方式安全ロープのフックが外れた状態で被災者と一緒に落下
	[被災程度] 休業7日以上（第2,3腰椎錐体骨折）
	[服装・装備] 作業服、ヘルメット、地下足袋、皮手袋、フルハーネス型墜落制止用器具、キーロック方式安全ロープ
	[災害発生要因]
	○ キーロック方式安全ロープの台付側フックの安全装置が、部材等に押され解除され、キーロック安全ロープを引っ張った時に、台付側フックの外れ止め装置に三目環が乗り上げ、フックが外れる構造となっていた。
	[再発防止対策]
	○ 台付側フックに安全装置固定具を装着する
	・フック式移動ロープの安全装置固定具（ゴムキャップ）をキーロック方式安全ロープの台付側フックに装着し、安全装置が解除されないように固定する。
	(暫定) ※安全装置固定具が確保できる迄
	○ 台付側フックは部材等との干渉を避ける
	・安全装置固定具が確保できる迄は、作業員が三目環の位置を下方に移動・調整のうえ、台付側フックが部材等と強く干渉しない位置とする。但し、台付部のロープでビニールパイプ保護部以外のロープが、鋭意な部材等に当たる場合は、パッドや丈夫な布等で養生して使用する。

（注）1. 「人身災害報告要領」に基づいて記載するものとし、「工事の種類」「災害の種類」「原因」については該当項目に○印を付ける。

2. 災害状況の説明と共になるべく図面を添付すること（様式－2）。特に感電の場合は支持物、電線の離隔距離その他寸法を記入する。

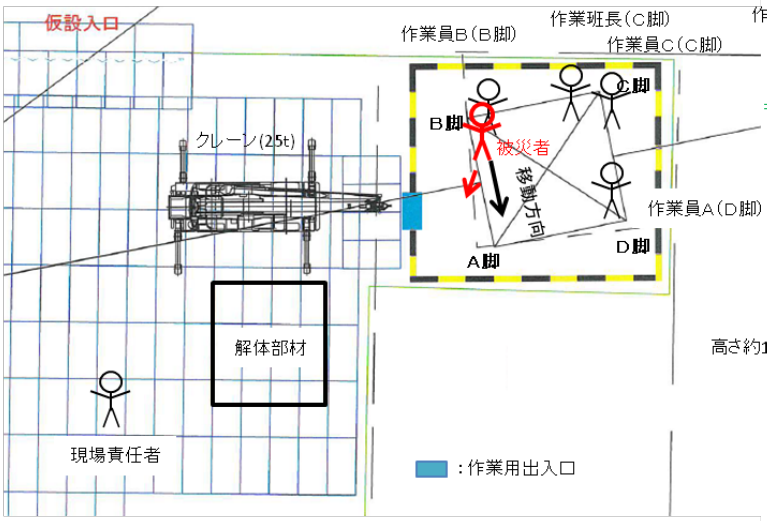
（様式－2）

災　害　概　要　図

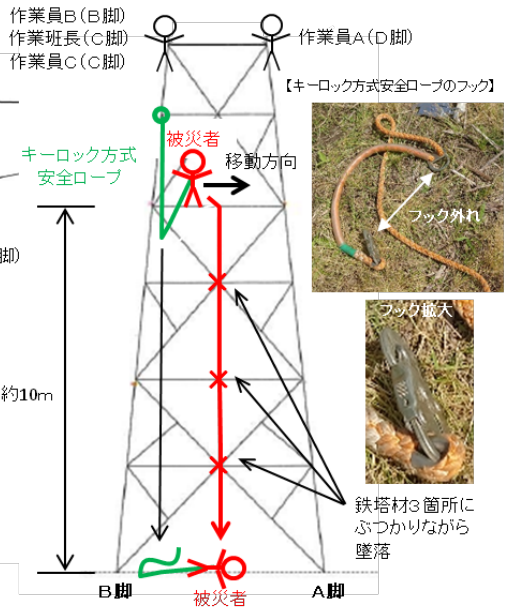
［発生状況概要］

＜被災状況＞

【旧鉄塔 平面図】



【旧鉄塔 立面図】



［再発防止対策］　台付側フックに安全装置固定具を装着する

安全装置固定具取付前

安全装置固定具取付後

（暫定）※安全装置固定具が確保できる迄
台付側フックは部材等との干渉を避ける

通常の取付位置

三目環の位置を下方に調整後